

小 学 校

令和3年度

教育研究員研究報告書

社 会

東京都教育委員会

目 次

I	研究主題・研究主題設定の理由	1
II	研究仮説	1
III	研究の視点	1
IV	研究方法（研究構想図）	4
V	各学年の研究内容・成果と課題	5
1	第3学年及び第4学年分科会研究内容・成果と課題	5
2	第5学年分科会研究内容・成果と課題	9
3	第6学年分科会研究内容・成果と課題	13

研究主題

社会的事象について主体的に問いを追究・解決 しようとする児童の育成

～見通しと振り返りを生かした指導の工夫を通して～

I 研究主題設定の理由

『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」（文部科学省 令和3年1月26日）には、『予測困難な時代』であり、新型コロナウイルス感染症により一層先行き不透明となる中、私たち一人一人、そして社会全体が、答えのない問いにどう立ち向かうのかが問われている。目の前の事象から解決すべき課題を見だし、主体的に考え、多様な立場の者が協働的に議論し、納得解を生み出すことなど、正に新学習指導要領で育成を目指す資質・能力が一層強く求められていると言えよう。」と示されている。児童の主体的な学びに関わる主体的に学習に取り組む態度については、『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料【小学校社会】（国立教育政策研究所 令和2年3月）において、「知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を身に付けることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と自ら学習を調整しようとする側面」があると説明されている。本研究当初にこれらのことを踏まえて研究員が各自の課題意識を共有したところ、多くの研究員から「課題追究の場面において、児童が学習問題の解決への追究意欲が低下し、単元全体を通して主体的に問いを追究・解決しようとする姿が見られなくなる傾向にある」ことが挙げられた。そして、その理由として、教師が課題把握の場面において、児童が学習問題の解決に向けた見通しをもつような学習活動を設定していなかったり、課題追究の場面において、児童が振り返った内容を指導に十分に生かすことができていなかったりしたことの2点が挙げられた。児童が社会的事象について、予想や学習計画を立て、学習を振り返ったり見直したりして、学習問題を追究・解決できるように、この2点を教師の課題として研究する必要があると捉え、研究主題を設定した。

II 研究仮説

児童が学習問題の解決に向け、予想や学習計画を立てて調べたり、調べたことを振り返ったりして問いを追究できるよう教師が学習活動や指導を工夫すれば、児童は、単元を通して社会的事象に関心を持ち続け、主体的に問いを追究・解決できるのではないかと。

III 研究の視点

本研究では、教科や単元の目標を達成するため、小学校社会科の指導改善・充実を図ることを目的に主題を「社会的事象について主体的に問いを追究・解決しようとする児童の育成」と設定し、次の3点を研究の視点とし、学習指導の工夫の研究を行った。

1 「主体的に問いを追究・解決しようとする児童」・「問い」の定義付け

「主体的に問いを追究・解決しようとする児童」とは、「社会的事象に関心を持ち、学習問題の解決への見通しを立て、これまでの学習を振り返ったり見直したりしながら追究・解決しようとする児童」と定義した。また、主題にある「問い」については、「小学校学習指導要領解説社会編」（平成29年6月）で示されていることを基に、単元で解決する学習問題を中心とし、

学習課題や児童の疑問、教師の発問も含むこととした。

2 具体的な手だて

(1) 児童が見通しをもって問いを追究できるための手だて

ア 学習問題について予想したり学習計画を立てたりする活動の設定

課題把握の場面において、学習問題の解決に向けて見通しをもつことができるように、児童が予想したり学習計画を立てたりする場面を設定した。その際は、児童が予想できるように、教師が既習事項や生活経験を想起する発問をしたり、問いにつながる資料を提示したりした。また、予想を分類、整理し、調べる内容、調べるために必要な資料、調べる方法及び調べる順序を明確にするため、教師の発問をもとに学習計画を立てられるようにした。

イ 「がんばりポイント」を活用して、学び方を見通す活動の設定

年度初めの社会科のオリエンテーションにおいて、児童が学習問題の解決に向けた学び方を身に付けられるように、「がんばりポイント」を作成した。「がんばりポイント」とは、課題把握・課題追究・課題解決の各場面において、児童に学習指導要領を踏まえて身に付けさせたい学び方である。児童の発達段階に配慮して、活用する場面を限定したり、つけるポイントの数を変えたりして作成した。学習指導要領の各学年の目標の「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」を踏まえつつ、「がんばりポイント」を教師が一方的に提示するのではなく、児童が主体的に取り組めるように共に確認しながら「がんばりポイント」を決めるようにした。なお、「がんばりポイント」の項目は年間を通じて同じ表現にするのではなく、時期に応じて児童と話し合いながら変更した。

(実践事例で使用した「がんばりポイント」第4学年の例)

調べる内容 (問い)	調べる 資料・方法	がんばりポイント ①資料から、問いのいかい決につながることを見付けられるようにする。 ②友達と話し合い、問いをいかい決できるように考える。	
		☆☆☆	<理由> ----- ----- -----

ウ 児童が調べる方法やまとめる方法を選択する活動の工夫（一人1台の学習者用端末の活用）

課題把握の場面で明確にした調べるために必要な資料や情報を収集していくために、児童一人一人が調べる方法を選択できるようにした。児童は、主に教科書や資料集等を活用して調べるが、各学年の発達段階に応じて、教師の用意した資料や調べる内容に関するwebサイト等を、教師が予め選択・指定し、児童一人一人に適した方法で情報を収集できるようにした。

(2) 児童が学習を振り返ったり見直したりしながら問いを追究できるための手だて

ア 「学習問題解決メーター」を活用して、児童が振り返ったり見直したりする活動の設定

児童が学習問題の解決を意識して追究できるように、「学習問題解決メーター」を作成した。「学習問題解決メーター」は、1単位時間の終末に、学習問題を振り返るとともに、児童が

立てた学習計画の進捗状況を視覚的に確認できるようにしたものである。この「学習問題解決メーター」と児童が立てた学習計画を合わせて活用することにより、児童が学習問題をどれだけ解決できているかを自覚し、必要に応じて学習を調整できるようにした。教師は児童一人一人の「学習問題解決メーター」を把握し、個別の指導に活用したり、必要に応じて計画していた授業内容の変更を行ったりした。

(「学習問題解決メーター」第5学年の例)

(学習面)	調べる段階				まとめる段階
	学習計画(調べる内容と順番)				
	①自動車工場の人、 自動車をどのように つくっているのだろ う。	②部品工場の人、ど のような工夫をして 部品をつくったり運 んだりしているのだ らう。	③自動車を届ける人 は、どのような工夫 をして消費者のもと へ自動車を届けてい るのだらう。	④自動車を開発する人 は、どのような工夫 をしているのだろ う。	学習問題に対する 考えを図や文章で まとめることがで きた。
学習問題	自動車づくりに関わる人々は、世界に認められる品質のよい自動車をどのように作り、届けているのだらう。				
学習問題 解決 メーター	0%		50%		100%
学習問題解決に 向けて考えたこ と					

イ 「がんばりポイント」を活用して、学び方を振り返る場面の設定

上述の(1)②で述べた「がんばりポイント」に沿って課題把握・課題追究・課題解決の各場面において、3段階から5段階で学び方を振り返る活動を設定し、児童の学び方の改善をねらった。また、単元終了時に児童が各場面における「がんばりポイント」を振り返ることにより、単元を通しての自己の学び方を振り返り、次単元の学び方を自覚することができるようにした。さらに、教師は児童の「がんばりポイント」を把握し、ポイントに応じて個別の指導に生かすようにした。

3 授業実践を行っての考察

以上の点に基づいて、発達段階や学習内容・系統性を検討して、手だてに軽重をつけて各学年分科会で授業実践を進め、分析、考察した。

(各学年分科会が重点を置いた手だて)

具体的な手だて	第3学年及び 第4学年	第5学年	第6学年
(1)ア 見通す活動の設定	◎	◎	◎
(1)イ及び(2)イ がんばりポイント	◎	○	○
(1)ウ 一人1台の学習者用端末	○	○	◎
(2)ア 学習問題解決メーター	○	◎	○

成果と課題

〈成果〉それぞれの手だてにより、児童は見通しをもち、自分の追究の状況を確認しながら、学習を進めることができた。

〈課題〉追究が難しくなった際の学び合いや教師の支援については、一層の分析が必要である。

IV 研究方法（研究構想図）

背景	【学習指導要領】	【児童の実態】	【GIGA スクール構想】
	主体的な学びについては、児童生徒が学習課題を把握しその解決への見通しをもつことが必要である。そのためには、単元などを通じた学習過程の中での動機付けや方向付けを重視するとともに（中略）、児童生徒の表現を促すようにすることなどが重要である。	課題追究の場面において、児童が学習問題の解決への追究意欲が低下し、単元全体を通して主体的に問いを追究・解決しようとする姿が見られなくなる傾向にある。	一人1台の学習者用端末と高速通信ネットワークを一体的に整備することで多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、個別最適化され、資質能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境を実現する。

〔小学校社会部会の研究主題〕
 社会的事象について主体的に問いを追究・解決しようとする児童の育成
 ～見通しと振り返りを生かした指導の工夫を通して～

仮説
 児童が学習問題の解決に向け、予想や学習計画を立てて調べたり、調べたことを振り返ったりして問いを追究できるよう教師が学習活動や指導を工夫すれば、児童は、単元を通して社会的事象に関心をもち続け、主体的に問いを追究・解決できるのではないかと

研究の内容・手だて

<p>(1) 児童が見通しをもって問いを追究できるための手だて</p> <p>ア 学習問題について予想したり学習計画を立てたりする活動の設定 イ 「がんばりポイント」を活用して、学び方を見通す活動の設定 ウ 児童が調べる方法やまとめる方法を選択する活動の工夫（一人1台の学習者用端末の活用）</p>	<p>(2) 児童が学習を振り返ったり見直したりしながら問いを追究できるための手だて</p> <p>ア 「学習問題解決メーター」を活用して、児童が学習を振り返ったり見直したりする活動の設定 イ 「がんばりポイント」を活用して、学び方を振り返る場面の設定</p>
---	---

具体的な手だて	第3学年及び第4学年	第5学年	第6学年
(1)ア	学習計画の時間を確保	—	
	既習事項の活用と問いにつながる資料の提示		
(1)イ及び(2)イ	課題追究の場面	課題把握・課題追究・課題解決の各場面	
(1)ウ	調べる方法の選択	調べ、まとめる方法の選択	
(2)ア	単元全体のまとめの記述	進捗状況と単元全体のまとめの記述	

目指す児童像
 社会的事象に関心をもち、学習問題の解決への見通しを立て、これまでの学習を振り返ったり見直したりしながら追究・解決しようとする児童

V 各学年の研究内容・成果と課題

1 第3学年及び第4学年分科会研究内容・成果と課題

(1) 実践事例 第4学年「受け継がれる祭り～武蔵府中くらやみ祭」(10時間)

(2) 本単元の目標

都内の年中行事について、歴史的背景や現在に至る経過、保存や継承のための取組などに着目して、資料で調べ、文章にまとめ、都内の年中行事は地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学んだことを基に、地域の伝統や文化の継承に協力する態度を養う。

(3) 教材観

本単元では、東京都府中市の「武蔵府中くらやみ祭」を事例として取り上げた。時期や時間の経過に着目して、くらやみ祭は府中市の人々が約千年受け継いできたことを捉えたり、事象や人々の相互関係に着目して、くらやみ祭は府中市の人々の様々な願いが込められていることを捉えたりする。なお本単元は、府中市外の自治体で実践した。

(4) 研究主題に迫るための主な手だて

ア 児童が見通しをもって問いを追究できるための手だて

(ア) 学習問題について予想をしたり学習計画を立てたりする活動の設定

- ・ 資料を提示し、児童が「くらやみ祭に関わる府中市の人々」に着目して予想をすることができるようにした。
- ・ 学習計画を立てる時間を十分に確保し、課題追究の場面での調べる内容、調べる方法及び調べるために必要な資料を明確にした学習計画を立てるようにした。

(イ) 「がんばりポイント」を活用して、学び方を見通す活動の設定

実践事例の学級では、「資料から、問いの解決につながることを見付けられるようにする。」「友達と話し合い、問いを解決できるように考える。」の2点を設定した。

(ウ) 児童が調べる方法やまとめる方法を選択する活動の工夫(一人1台の学習者用端末の活用)

課題追究の場面において、一人1台の学習者用端末を活用し、写真や動画を提示することで、写真を拡大したり、動画を繰り返し視聴したりするなど調べる方法を増やした。

イ 児童が学習を振り返ったり見直したりしながら問いを追究できるための手だて

(イ) 「がんばりポイント」を活用して、学び方を振り返る活動の設定

「がんばりポイント」を活用して、課題追究の場面における学び方を振り返ることで、児童が自らの学習状況を確認し、学び方を改善できるようにした。また、教師は、「がんばりポイント」の記述を毎時間把握し、個別指導に生かしたり、他の児童に共有したりするなど指導に生かした。

(5) 指導の実際「受け継がれる祭り～武蔵府中くらやみ祭」(10時間)

場面 時間	<p>○主な学習活動 本時の問い・めあて T教師の発問・指示 C児童の反応 分析</p>	<p>■資料(種類)</p>															
<p>課題把握</p>	<p>① 東京都には、どのような年中行事や文化財があるのだろう。 ○都内の代表的な文化財や年中行事を調べ、くらやみ祭に関心をもつ。 C1 東京都では、様々な場所で様々な年中行事が行われている。 C2 特に、くらやみ祭という祭がどんな祭なのか調べてみたい。</p> <p>② 東京都の年中行事について、学習問題を立てよう。 ○くらやみ祭の歴史の長さに着目して、問いを見だし、学習問題を立てる。 <児童が学習問題を見いだす資料></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">三社祭</td> <td style="width: 45%; text-align: center; border: 2px solid black;">約700年</td> <td rowspan="3" style="width: 40%; vertical-align: middle;">府中市に住むSさんの話 「300年前の私の先祖から、くらやみ祭に関わっている。」</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">深川祭</td> <td style="text-align: center; border: 2px solid black;">約370年</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">くらやみ祭</td> <td style="text-align: center; border: 2px solid black;">約1000年</td> </tr> </table> <p>C3 どうして、くらやみ祭はこんなに長く続いているのか。 C4 いつ頃からどんな理由で始まったのか。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【学習問題】 くらやみ祭はどのようにして1000年以上続けてきたのだろう。</p> </div> <p>○資料を基に、学習問題の予想をする。 C5 江戸時代から始まったのかな。人々の幸せを願うために続けているのかな。 C6 大祭委員会の写真から、祭りを続けるために、何かを話し合っているのかな。 C7 万灯大会の写真から、祭りを続けるために、何かイベントをしているのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>予想につながる資料を提示したことで、C6・C7は「くらやみ祭を受け継ぐ府中市の人々」に関わる予想をすることができた。</p> </div> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">資料</th> <th style="width: 50%;">予想</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">江戸名所図会(絵)</td> <td>・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">大祭委員会の会議の様子(写真)</td> <td>・祭りを続けるために、何かを話し合っている? ・盛り上げる方法?安全対策?</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)</td> <td>・祭りを続けるために、何かイベントをしている? ・お客さんや参加者を増やすため?</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><児童がもった予想(板書)></p>	三社祭	約700年	府中市に住むSさんの話 「300年前の私の先祖から、くらやみ祭に関わっている。」	深川祭	約370年	くらやみ祭	約1000年	資料	予想	江戸名所図会(絵)	・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?	大祭委員会の会議の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かを話し合っている? ・盛り上げる方法?安全対策?	青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かイベントをしている? ・お客さんや参加者を増やすため?	<p>■東京都の主な年中行事(地図・写真)</p> <p>■くらやみ祭の様子(写真・動画)</p> <p>■年中行事の長さの比較(グラフ)</p> <p>■府中市に住むSさんの話(動画)</p> <p>■江戸名所図会(絵)</p> <p>■大祭委員会の話し合いの様子(動画)</p> <p>■子供神輿・万灯大会の様子(動画)</p>
	三社祭	約700年	府中市に住むSさんの話 「300年前の私の先祖から、くらやみ祭に関わっている。」														
深川祭	約370年																
くらやみ祭	約1000年																
資料	予想																
江戸名所図会(絵)	・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?																
大祭委員会の会議の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かを話し合っている? ・盛り上げる方法?安全対策?																
青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かイベントをしている? ・お客さんや参加者を増やすため?																
<p>③ 学習問題に対する予想から、学習計画を立て、見通しをもとう。 ○学習問題の予想を基に、学習計画を立てる。 T 学習問題を解決するために、どんな内容を調べますか。 C8 くらやみ祭はいつ、どんな理由で始まったか。 C9 大祭委員会は、祭りを続けるためにどんな話し合いをしているのか。 C10 青年大祭委員会は祭りを続けるためにどんなことをしているのか。 T どんな方法で調べるか。どんな資料が必要ですか。 C11 くらやみ祭の歴史を調べるのであれば、年表が必要だ。 C12 大祭委員会や青年委員会の方にインタビューすると分かるのではないか。 C13 歴史の流れに沿って、祭の始まりから調べる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>学習計画を立てる時間を十分に確保することで、調べる内容や方法を明確にして、児童が課題追究への見通しをもつことができた。</p> </div> <p>○「がんばりポイント」の確認をする。 C14 自分で資料を選んで分かりやすくまとめたい。 C15 自分が調べたことを上手に伝えられるようになりたい。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 25%;">資料</th> <th style="width: 25%;">予想</th> <th style="width: 25%;">問い</th> <th style="width: 25%;">調べる方法・資料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">江戸名所図会(絵)</td> <td>・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?</td> <td>くらやみ祭はいつごろどのように始まったのか?</td> <td>・年表 ・パンフレット</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">大祭委員会の話し合いの様子(写真)</td> <td>・祭りを続けるために、何かを話し合っている?</td> <td>大祭委員会は、祭りを続けるために、どんな話し合いをしているのか?</td> <td>・大祭委員会の方にインタビュー</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: 1px solid black;">青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)</td> <td>・祭りを続けるために、何かイベントをしている?</td> <td>青年大祭委員会は、祭りを続けるために、どんなことをしているのか?</td> <td>・青年大祭委員会の方にインタビュー</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;"><児童が立てた学習計画(板書)></p>	資料	予想	問い	調べる方法・資料	江戸名所図会(絵)	・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?	くらやみ祭はいつごろどのように始まったのか?	・年表 ・パンフレット	大祭委員会の話し合いの様子(写真)	・祭りを続けるために、何かを話し合っている?	大祭委員会は、祭りを続けるために、どんな話し合いをしているのか?	・大祭委員会の方にインタビュー	青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かイベントをしている?	青年大祭委員会は、祭りを続けるために、どんなことをしているのか?	・青年大祭委員会の方にインタビュー	
資料	予想	問い	調べる方法・資料														
江戸名所図会(絵)	・江戸時代から始まった? ・人々の幸せを願うため?	くらやみ祭はいつごろどのように始まったのか?	・年表 ・パンフレット														
大祭委員会の話し合いの様子(写真)	・祭りを続けるために、何かを話し合っている?	大祭委員会は、祭りを続けるために、どんな話し合いをしているのか?	・大祭委員会の方にインタビュー														
青年大祭委員会が企画する万灯大会の様子(写真)	・祭りを続けるために、何かイベントをしている?	青年大祭委員会は、祭りを続けるために、どんなことをしているのか?	・青年大祭委員会の方にインタビュー														
	<p>④ くらやみ祭は、いつ頃どのように始まったのだろう。 ○くらやみ祭の起こりや成り立ちを調べる。 C16 くらやみ祭は、平安時代に大国魂神社で始まった。 C17 武蔵国(東京都・神奈川県・埼玉県の一部)の人々が幸せになれるように始まった。 <A児の本時のまとめと振り返り></p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 45%; border: 1px solid black;"> <p><まとめ></p> <p>くらやみ祭は平安時代から始まった。大国魂神社で始まった。</p> <p><友達の考え> 武蔵の国の人々の幸せのため。</p> </td> <td style="width: 55%; border: 1px solid black; text-align: center;"> <p><理由></p> <p>資料を選べたけど、うまくまとめられなかった。</p> <p>調べたことを交流することができた。話し合っ</p> <p>友達が言うことを参考にした。</p> </td> </tr> </table>	<p><まとめ></p> <p>くらやみ祭は平安時代から始まった。大国魂神社で始まった。</p> <p><友達の考え> 武蔵の国の人々の幸せのため。</p>	<p><理由></p> <p>資料を選べたけど、うまくまとめられなかった。</p> <p>調べたことを交流することができた。話し合っ</p> <p>友達が言うことを参考にした。</p>	<p>■くらやみ祭の年表(年表)</p> <p>■くらやみ祭パンフレット(写真・文書)</p>													
<p><まとめ></p> <p>くらやみ祭は平安時代から始まった。大国魂神社で始まった。</p> <p><友達の考え> 武蔵の国の人々の幸せのため。</p>	<p><理由></p> <p>資料を選べたけど、うまくまとめられなかった。</p> <p>調べたことを交流することができた。話し合っ</p> <p>友達が言うことを参考にした。</p>																

課題追究	<p>A児は、「祭の起り」について解決できたが、「くらやみ祭の成り立ち」について自分で解決することはできなかった。よって、「がんばりポイント」①について課題があると考えていた。そこで教師は、A児に「問いをもう一度確認しよう。」と個別指導することにした。</p>	<p>■大國魂神社の宮司のIさんの話(動画)</p>
	<p>⑤ 大祭委員会は、祭を続けるために、どのような話し合いをしているのだろう。 ○くらやみ祭の経過や大祭委員会の役割について調べる。 C18 昭和30年頃は、神輿の奪い合いや喧嘩など危険なことが起こり、中止になった。 C19 みんなで安全で楽しい祭りをするために、ルールを決める話し合いをしている。 C20 タブレットで写真を拡大すると、神輿を担ぐ人の中に「警備」という烏帽子をかぶった人がいる。この人も大祭委員会で話し合ったことと関係している。</p>	<p>■大祭副委員長のFさんの話(文書) ■委員会設立前後の祭の様子(写真)</p>
	<p>C20は、一人1台の学習者用端末を活用し、写真を拡大してよく見ることで、大祭委員会ができた後の祭では、神輿の警備する人がいることに気づき、「安全な祭」に取り組む工夫を見付けることができた。</p>	
	<p><A児の本時のまとめと振り返り②></p>	
	<p><まとめ> 大祭委員会は、祭を続けるために、安全でけんかが起らないようにどうするか話し合っていた。例えば、神輿を担ぐときの服装を同じにするルールを決めた。</p>	<p><理由> 昨日よりも、うまくまとめられた。資料を見て大切なことを抜き出して書けた。みんなに伝えることはできなかったのに、星2つにした。</p>
	<p>A児に「問いをもう一度確認しよう。」と個別指導したことで、本時の問いを意識しまとめることができ、学び方の成果を自覚することもできた。さらに、次時に向けて、交流への課題意識を高めていた。</p>	
<p><B児の本時のまとめと振り返り></p>		
<p><まとめ> 服装を同じにする 町会から警備する人を出す ↓ 安全に祭ができるように→祭が続く</p>	<p><理由> 吹き出しや矢印などを使って分かりやすく、まとめることができた。次の時間も図にしてまとめてみたい。</p>	
<p>B児は、事象の相互関係を矢印で整理するという方法を見付けることができた。そこで、B児の振り返りの内容を次時の導入で発表させ、他の児童に共有することにした。</p>		
<p>⑥ 青年大祭委員会は、祭を続けるために、どのようなことをしているのだろう。 ○くらやみ祭を受け継いでいくための取り組みについて調べる。 C21 祭を盛り上げるために、万灯大会や子供神輿パレードを行っている。 C22 祭の楽しさが、子供から青年、大人につながることを祭を続けるためには大切だ。 <C児の本時のまとめと振り返り></p>	<p>■万灯大会や子供神輿の様子(文書) ■青年大祭委員会の方の話(文書)</p>	
<p><まとめ> 子供 → 青年 → 大人 大人神輿楽しい 万灯大会楽しい 祭を盛り上げたい</p>	<p><理由> 矢印を使うと、まとめやすかった。友達と交流して自分の意見を付け足すことができた。</p>	
<p>C児は、B児が本時の始めに前時の振り返りを発表したことで、自分も矢印を用いて、事象の相互関係を表してみようという思いをもち、自らの学び方へとつなげる様子が見られた。</p>		
<p>⑦ 年表に調べたことを整理し、学習問題に対する自分の考えをまとめよう。 ○年表に調べたことを整理し、学習問題に対する自分の考えをまとめる。 <A児の学習問題に対する自分の考え></p>	<p>■くらやみ祭に関わる人々(動画)</p>	
<p>くらやみ祭は大國魂神社の近くに住む人の幸せを考えて、平安時代から始まった。 大祭委員会や青年大祭委員会などの人々が、府中市を盛り上げていきたいという気持ちで続けてきた。</p>		
<p><C児の学習問題に対する自分の考え></p>		
<p>くらやみ祭は平安時代から始まり、大祭委員会や青年大祭委員会など多くの府中市の人々が続けてきた。 安全に楽しい祭にして、府中市をもりあげたいという気持ちが、子供→大人→子供…とつながっている。</p>		
<p>A児・C児共に、学習問題の解決に向けて見通しをもって追究し、「がんばりポイント」を活用した振り返りをしたことで、本単元の目標を達成した。A児は「問いを意識して資料を調べる力」C児は「事象の相互関係を考え、表現する力」を高めた。</p>		
<p>○学習内容を見直し、更に調べたいことを考える。 C23 くらやみ祭と同じように、自分たちの地域には年中行事があるのか調べたい。</p>		
<p>⑧ 自分たちの地域の年中行事について知り、自分たちにできることを考えよう。</p>	<p>■地域の年中行事の様子(写真・文章・年表)</p>	
<p>○自分たちの地域の年中行事を知る。 C24 地域にもずっと続く年中行事があるが、参加者が減っているなどの課題がある。 ○地域の年中行事を受け継ぐために、自分たちにできることを考える。 C25 年中行事を受け継ぐために、年中行事に興味をもち様々な形で関わる必要がある。</p>		

(6) 成果

ア 学習計画を立てる時間の確保によって、見通しをもって学習できた。

学習計画を立てる時間を確保し、調べる内容を問いの形で表したり、調べる資料を考えたりする活動を設定したことで、課題追究の時間の導入の様子に変容があった。以下がその一例である。

「水害からくらしを守る」(9月実施)	「受け継がれる祭り」(本実践事例)
T 今日どんな学習をしますか？	T 今日どんな学習をしますか？
C1 水害！	C1 「大祭委員会は祭を続けるために、どのような話し合いをしているか」調べたいです。
C2 東京都！	C2 副読本に、大祭委員会の方の話が書かれているから、それを読みたいです。
T 今日は「水害を防ぐために東京都は何をやっているか」を調べましょう。	

このように、以前は、何を調べたらよいか児童は把握できず、教師が問いを提示することが多くあった。しかし本実践事例では、児童が調べる内容や調べる方法を既に把握した状態で始めることができ、見通しをもって学習に取り組むことができた。

イ 一人1台の学習者用端末の活用によって、調べる方法が増えた。

本実践事例のC20の発言のように、写真を拡大したり、動画を繰り返して見たりすることで、問いの解決につながる気付きを得ることができた。

ウ 「がんばりポイント」の活用によって、自らの学び方の改善に生かすことができた。

「がんばりポイント」を活用し、個別指導をしたり、他の児童に共有したりすることで、児童が自らの学習状況を振り返り、学び方を改善することができた。

<A児>

A児は、第4時で問いの解決が不十分であると振り返っていた。そこで第5時では、教師が「問いをもう一度確認しよう。」と個別に指導したことで、学び方を改善し、問いの解決をすることができた。



<C児>

C児は、第6時の導入でB児が「矢印を使っていること」を発表した際に、自分もやってみようと考え、学び方を改善し、事象の相互関係を考え、表現できた。



(7) 課題

「がんばりポイント」や「学習問題解決メーター」を基にして、指導に生かせるよう、より明確な分析の方法と具体的な個別指導の方法を考える。

2 第5学年分科会研究内容・成果と課題

(1) 実践事例 第5学年「自動車をつくる工業」

(2) 本単元の目標

我が国の自動車生産について、製造の工程、工場相互の協力関係、優れた技術などに着目しながら各種の資料で調べる活動を通して、自動車生産に関わる人々が、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をしながら自動車生産を支えていることを理解するとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に自動車生産の発展について考えようとする態度を養う。

(3) 教材観

本単元では、世界で認められている品質の良い自動車がどのように生産されているかを調べ、相互関係に着目しながら自動車工業に関わる様々な人々の工夫や努力をつかませるとともに、近年の人々が求める、安全や環境等に配慮したより良い製品の開発が行われていることを理解させる。

(4) 研究主題に迫るための主な手だて

ア 児童が見通しをもって問いを追究できるための手だて

(7) 学習問題について予想したり学習計画を立てたりする活動の設定

課題把握の場面において、以下のような学習活動を設定した。

- ・ 既習事項や問いにつながる資料を基に、学習問題に対する予想を考える。
- ・ 児童が予想を出し合い、全体で共有して分類、整理する。
- ・ 調べる内容、問いの解決に必要な資料、調べる方法や順序を考え、学習計画を立てる。

(ウ) 児童が調べる方法やまとめる方法を選択する活動の工夫（一人1台の学習者用端末の活用）

実践事例の学級でアンケート調査を行ったところ、調べやすいと感じる方法は、児童によって異なることが明らかになった。そのため、課題追究の場面において、自分が調べやすい方法を選択して学習できるようにした。また、学習を整理、まとめる方法についても、一人1台の学習者用端末を用いてまとめる方法も選択できるようにした。

イ 児童が学習を振り返ったり見直したりしながら問いを追究できるための手だて

(7) 「学習問題解決メーター」を活用して、児童が学習を振り返ったり見直したりする活動の設定

児童が自らの学習状況を把握し、学習問題に対する自分の考えをまとめる「学習問題解決メーター」の100%に向けて、今後どうしていくべきかを視覚的に確認し、学習問題の解決への意欲をもたせるようにした。

また、本分科会では、本時の問いに対する自分の考えについての記述欄も設け、学習問題をより意識して毎時間の問いを追究することができるようにした。

(学習面)	つかむ段階	調べる段階	まとめる段階
学習問題	学習問題解決メーター		
学習問題の解決メーター			
学習問題解決に向けて考えたこと	本時の問いに対する自分の考えを記述		

教師は、メーターの進捗状況や児童の記述から児童一人一人の学習状況を把握し、必要に応じて児童に「次の学習にはどのような資料が必要か」や「本時と次の学習はどのようなつながりがあるか」などを確認し、学習のまとめを書けるように個別に指導した。

(5) 指導の実際 「自動車をつくる工業」 (9時間)

時	○主な学習活動	■資料
課題把握	○主な学習活動 本時の問い・めあて ・児童の反応 分析 1 私たちの生活と自動車の関係について考えよう。 ○自動車と生活の関わりについて考える。 ○自動車の普及率や世界販売台数、部品の品質などについて調べる。 ・日本の自動車は品質が高く、世界でも人気があり、私たちの生活に欠かせないものになっている。	■自動車販売台数ランキング ■日本自動車耐久品質調査 ■国別自動車トップセールス
	2 日本の自動車づくりに関する疑問を出し合い、学習問題を考えよう。 ○自動車の注文書で自動車を選ぶ体験をし、選んだ決め手を伝え合う。 ○自動車生産台数の変化や自動車に使われる部品について調べる。 ○これまでの内容を基に、日本の自動車づくりに関する疑問を出し合い、学習問題を設定する。 【学習問題】 自動車づくりに関わる人々は、世界に認められる品質の良い自動車をどのようにつくり、届けているのだろう。	■自動車注文書 ■日本の乗用車生産台数の変化 ■自動車に使われている部品
	3 学習問題に対する予想を話し合い、学習計画を立てよう。 ○これまでの既習事項や資料を基に学習問題に対する予想を端末内の共同編集可能なアプリケーション上に出し合う。 <児童がもった予想> ・機械を使って作っているのではないか。 ・一つ一つの工場で別々に作っているのではないか。 ・計画を立ててから車を作っているのではないか。 <端末内の共同編集可能なアプリケーション上における予想の分類、整理の様子> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>計画</p> <p>計画を作ってから車を作っている。</p> <p>会社の人がどのように車を作るか計画を立てる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>作る</p> <p>客にオーダーされた組みあわせでパーツを集め車を作る</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>部品</p> <div style="display: flex; flex-direction: column;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">機械で部品を繋げたりしている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">部品を頼む</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">一つ一つの工場があって別々に作っている。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">作れる部品は工場で作っている</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">集めた機械で部品を作っていく</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">世界各国から部品を輸入している</div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>点検</p> <p>最後まで壊れているところがないか確認している</p> <p>消費者に届ける前に、点検。</p> <p>できた自動車をきれいにしている</p> </div> </div>	■組み立て工場の作業写真 ■自動車工場と関連工場の分布図 ■輸出先 ■自動車に使われている様々な部品イラスト ■海外工場の様子 ■企画、設計している人の写真

	<p>○各自が出した予想を基に、学習計画を立てる。 <児童が立てた学習計画></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客さんのニーズに応える人たちは、どのように商品の良さを伝えながらニーズに応えようとしているのだろう。 ・関連工場の人たちは、どのような工夫をして部品を作っているのだろう。 ・組み立て工場の人たちは、どのようにニーズに合わせた色や形に変えて組み立てているのだろう。 ・運ぶ人たちは、どのような方法で自動車を運んでいるのだろう。 <p><A児の振り返り></p> <p>農業や水産業の時のことを考えると、工業でも消費者のニーズに応える工夫があると思った。わたしは、ニーズに合った部品を10棟くらいの工場で作っているのではないかと思う。</p> <p>既習事項と本時の資料を関連付けるよう指導したことで、調べる視点を、「ニーズに応える工夫」、「関連工場での部品作り」、「組み立て工場での工夫」及び「運ぶ人たち」の4点に分類、整理していくことができ、具体的な学習計画を立てることができた。</p>		
課題 追究	4	<p>自動車工場的人是、自動車をどのようにつくっているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○昔の自動車生産の仕組みや働く人々の苦労を確認し、課題に対する予想を出し合う。 ○オンラインで工業見学をして、工場で働く人に質問する。 ○本時の学習を振り返る。 <p><B児の振り返り></p> <p>最終組み立てやチェックなどは、全て人が行っていたり、完成した自動車は1000項目以上の検査をしたりしていた。日本の自動車がどうして安全で故障しにくいのが分かった。</p>	<p>■昔の自動車作りについての資料</p>
	5	<p>部品工場的人是、どのような工夫をして部品をつくったり運んだりしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実物の部品を見て、自動車には多種多様な部品が数多く使われていることを確認して、課題に対する予想を出し合う。 ○部品作りや運ぶ方法の工夫について調べる。 <p><B児の振り返り></p> <p>関連工場の人たちは、ジャストインタイム方式で必要なものを必要な分だけ作っていることを知った。次の時間は運ぶ人たちについてだが、たまに高速道路などで車をたくさん積んだ車を見るので、そういうことをしているのではないかと思った。</p>	<p>■実物の部品</p>
	6	<p>自動車を届ける人は、どのような工夫をして消費者のもとへ自動車を届けているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自動車の輸送費用や重さ、運ぶ日数について確認する。 ○自動車が消費者のもとへ届くまでの過程を調べる。 <p><B児の振り返り></p> <p>予想と同じようにたくさん車を積んだキャリアカーなどを使っていた。組み立て工場などは高速道路や海岸などにあるが、車を売る場所はどうなのかが気になった。</p>	<p>■自動車一台の輸送費</p> <p>■自動車の重さ</p> <p>■アメリカまで船で運ぶ日数</p>
	7	<p>自動車を開発する人は、どのような工夫をしているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの自動車の変化から、開発する人たちの工夫や努力について調べる。 <p><B児の振り返り></p> <p>新しい自動車はロコミやアンケートをもとに開発されていることが分かった。そんな新しい自動車は、1年でどれくらい開発されているのが気になった。</p>	<p>■自動車の変化についての資料</p>
課題 解決	8	<p>これまで調べてきたことを整理し、学習問題に対する自分の考えをまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習問題を確認し、これまでの学習を関連図に整理する。 	<p>■これまでの学習に使った資料</p>

	<p>○学習問題に対する自分の考えをまとめる。 < B児のまとめ ></p> <p>大きな機械を使って作業したり、工場同士で協力したり、1000項目以上の細かい検査を実施したり、人の目で最終的に確認したりすることで、品質がよく安全性が高い自動車がたくさん作られる。海外へは専用の船で一度に数千台も運ぶことができる。</p> <p>「学習問題解決メーター」があることで、児童が学習問題の解決に向けて見通しをもちながら追究することができた。また、本時の問いに対する自分の考えを毎時間記述することで、学習の過程や積み重ねが分かり、学習問題に対する自分のまとめに生かすことができた。</p> <p>< B児の学習後の感想 ></p> <p>授業で調べたことだけでなく、授業以外でも調べてまとめることができたので、評価は花丸にしました。今回はパソコンで記録をとるようにして、そこに友達の意見や自分の意見を工夫しながら入れることもできました。自分で資料を持参できなかったのもので、次からは、本などの資料を自分で探して使っていきたいです。</p> <p>「がんばりポイント」の設定によって、児童が調べ方やまとめ方等を意識しながら学習に取り組むことができた。また、学び方を改善し、次に生かそうとする意欲も見られた。</p> <p>○学習を振り返り、さらに調べるべきことを見だし、見通しをもってこれからの自動車づくりやその技術の応用について考えをもつ。</p>	
9	<p>これからも日本の自動車づくりが世界に認められる品質を保つていくためにはどうしたらよいのだろう。</p> <p>○生産者や消費者、社会のニーズについて確認する。 ○生産者、消費者、社会全体を視点にし、これからの自動車生産に向けた取組を考え、発表する。</p>	<p>■ 事故に関する新聞記事 ■ 人身事故の推移 ■ 脱ガソリン車に向けた新聞記事</p>

(6) 成果

ア 学習問題の解決に向けた見通しを明確にした学習計画

学習問題を見いだす際には、問いにつながる資料を提示することで、児童は調べる視点に沿って予想することができた。また、調べる内容や必要な資料、調べる方法、順序を明確にした学習計画により、児童が単元全体を振り返る際には、「見通しをもって学習することができた。」という記述が多数見られた。

イ 児童一人一人に適した調べる方法やまとめる方法の選択

必要な資料を児童が自ら選択することで、積極的に情報を集めようとし、教科書と資料集、一人1台の学習者用端末のいずれも活用しながら、詳しく調べようとする姿も見られた。

自分に合ったまとめる方法を選ぶことで学習意欲が高まり、友達の発表を聞いて気付いたことや、後から自分で調べたことを加えて理解を深めている様子が見られた。

ウ 「学習問題解決メーター」による振り返りの設定

児童は、各時間の本時の問いに対する自分の考えを基に、学習問題についてまとめたり、これからの自動車産業について考えを広げるきっかけとしたりすることができた。

さらに、教師は、児童一人一人の学習状況を把握しやすくなり、学習につまずいている児童には、資料を個別に提示するなど、個に応じた指導を充実させることができた。

(7) 課題

- ・ 児童の予想だけでは明確な学習計画にならないと教師が判断した場合は、適切な資料を提示する必要がある。
- ・ 一人1台の学習者用端末を活用した調べ学習を進めた児童の中には、調べたことを十分にまとめられていない児童がいたため、調べて分かったことを発表する時間を設定して、内容の理解を促した。今後、調べる方法やまとめる方法を丁寧に指導し、理解の差が生じないよう、全体で共有する時間を確保する必要がある。

3 第6学年分科会研究内容・成果と課題

(1) 実践事例 第6学年「江戸幕府の始まりと政治の安定」(6時間)

(2) 単元の目標

我が国の歴史上の主な事象について、江戸幕府の大名配置、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制に着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べ、まとめ、江戸幕府の政策の意図や社会の様子を捉え、この頃の世の中の様子を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを理解できるようにするとともに、学習問題を主体的に追究・解決しようとする態度を養う。

(3) 教材観

本単元は、江戸幕府が参勤交代や鎖国、身分制などの政策を行い、安定した政治を行ったことを理解することをねらいにしている。そのために、課題把握の場面では、江戸幕府が武士で最長期間、政治を行った事を取り上げ、江戸幕府の政策への関心を高める。課題追究の場面では江戸幕府の政策の意図を考えたり、政策の与えた影響を多角的に考えたりする。

(4) 研究主題に迫るための主な手だて

ア 児童が見通しをもって問いを追究できるための手だて

(ア) 学習問題について予想をもったり学習計画を立てたりする活動の設定

課題把握の場面において、児童が追究の見通しをもつことができるように、次の流れで行った。まず、既習事項を生かして学習問題に対する予想を考える。次に、年表等の資料を基に、児童一人一人の予想を出し合い、分類、整理を行う。そして、調べる内容、調べるために必要な資料、調べる方法及び調べる順序を話し合い、学習計画としてまとめる。

(イ) 児童が調べる方法やまとめる方法を選択する活動の工夫(一人1台の学習者用端末の活用)

児童が自分で調べる方法やまとめる方法を選択することで、追究意欲の向上をねらった。児童一人一人がこれまでの経験から自分に適していると思う学習方法を選択することで、学習問題の解決に向けた情報の収集や整理を容易にできるようにした。一人1台の学習者用端末の活用を選択した児童に対して、教師は学習内容に関する「NHK for school」や文化財の公式ホームページなど多様なURLを紹介した。そのことで、児童が、自分の課題意識に合わせて必要なwebサイトを選択したり、動画を繰り返し見たりして自分に合ったペースで調べ学習を進められるようにした。

イ 児童がこれまでの学習を振り返ったり見直したりしながら問いを追究できるための手だて

(イ) 「学習問題解決メーター」を活用して、学習を振り返ったり見直したりする活動の設定

児童が、自らの学習状況を把握し、学習問題の解決に必要なことや、さらに調べるべきことは何かを考える機会となるように、毎時間の終末に、学習問題の解決に向けた自分の学習状況を数値で表し、「学習問題解決メーター」に記録するようにした。「学習問題解決メーター」に記録する際には、児童が立てた学習計画を振り返ったり、学習問題を意識してさらに調べる必要があることについて考えたりすることを促した。

(5) 指導の実際「江戸幕府の始まりと政治の安定」(6時間)

場面	時	◆本時の問い・めあて ○主な学習活動 ・児童の反応 分析	■主な資料
課題把握	1	<p>○将軍と大名の様子から、江戸幕府の力の大きさを捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大名たちが、皆頭を下げている。 ・将軍は、すごい力をもっていたのだな。 <p>◆江戸幕府について、学習問題を考えよう。</p> <p>○徳川家康がどのようにして江戸幕府を開いたのかを調べる。</p> <p>○家康の大名配置や一国一城令を調べ、その効果を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・徳川家が有利になるように、大名の配置を工夫している。 ・大名の城を取り上げ、戦いに備えられないようにしている。 <p>○これまでの幕府との比較から、徳川家による江戸幕府が長期政権であったことを理解して問題意識をもち、学習問題を見いだす。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の時代と比べて長く、江戸幕府はおよそ 260 年も続いていた。 ・どうして、江戸幕府は約 260 年も続いたのか。 ・江戸幕府は、どのようにして安定した政治を行ったのか。 	<p>■徳川盛世録</p> <p>■徳川家康(肖像画)</p> <p>■主な大名の配置(地図)</p> <p>■幕府の政権運営期間のグラフ</p> <p>■江戸幕府の歴代征夷大將軍一覽</p>
		<p>【学習問題】 江戸幕府はどのようにして力を高め、長い間、安定した政治を行うことができたのだろう。</p>	
		<p>将軍と大名の様子を資料にして比較できるように提示することで、児童は幕府の力の大きさを捉えていた。さらに、徳川家康の政策を調べることで、児童は、「幕府が大きな力をもつために何か取り組んだのではないか。」という疑問をもつことができた。また、幕府の長さや将軍が十五代続いたことに驚き、「どうしてそんなに長く続いたのか。」という疑問をもつことができた。</p>	
課題追究	2	<p>◆学習問題に対する予想を考え、学習計画を立てよう。</p> <p>○既習事項を基に、個人で学習問題に対して予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・御成敗式目のような決まりを作って、大名を取り締まったと思う。 ・豊臣秀吉の検地と刀狩のように、庶民に負担を強いたり、身分をはっきりさせたりしたと思う。 ・政治の仕組みを学びに、外国へ行ったと思う。 ・外国と交流し、武器や技術などを手に入れたと思う。 <p>○個人の予想を共有し、分類、整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大名を支配するために、決まりなどを作ったのではないか。 ・武士以外の人々を支配するために、負担を強いたのではないか。 ・外国と交流し、学んだのではないか。 <p>○予想を確かめるために調べることを話し合い、学習計画を立てる。</p> <p>【学習計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①どのように、大名を支配したのか。 ②どのように、武士以外の人々を支配したのか。 ③外国との関係はどうだったのか。 <p>< A児の振り返り ></p>	<p>■既習事項を示した教室内の掲示資料</p> <p>■年表</p>
		<p>学習計画を立てるときに、みんなの予想を確認し合うことで、「こんなことを調べていくのだな。」と具体的にイメージすることができた。調べる順番や必要そうな資料を話し合うことで、いつ、どんな学習をするのがよく分かって、安心して学習に取り組むことができた。</p>	
		<p>これまでの歴史学習の既習事項を基にすることで、「大名に対する政策」、「武士以外に対する政策」及び「外国との関わり」の視点で予想を分類することができた。学習計画を立てる際には、「まず、大名を抑え込むことに力を入れたのではないか。」という予想から、調べる順序を考え、単元全体の見通しをもつことができた。各時間の問いを解決するために必要だと考える資料についても学習計画に入れ、大名を支配するための決まりの内容が分かる資料、当時の人々の生活の様子分かる絵図、外国との関わりが分かる地図などが挙げられた。</p>	
課題追究	3	<p>◆江戸幕府は、どのように大名を支配したのか。</p> <p>○自分が調べる方法やまとめる方法を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことはノートにまとめていこう。 ・一人1台の学習者用端末を使って、プレゼンテーションを作成しながらまとめよう。 ・先生が用意したワークシートに調べたことをまとめていこう。 	<p>■武家諸法度(部分要約)</p> <p>■日光東照宮(写真)</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、教科書を中心に調べていこう。 ・本などを読んで知っていることも多いので、インターネットを使って詳しく調べてみよう。 <p>○大名を統制する徳川幕府の政策を調べる。 ○江戸幕府の政策の意図や効果を話し合う。</p> <p>児童が、自分たちで決めた「がんばりポイント」を基に、本時の学び方を意識したことで、児童一人一人がこれまでの自身の学習した経験を想起し、どのように学んでいくかを考え、自分で選択した方法で追究することができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■江戸城とその周りの様子（江戸屏風図） ■加賀藩の参勤交代図 ■江戸時代の大名屋敷（明治時代の写真）
4	<p>◆江戸幕府は、どのようにして、武士以外の人々を支配したのか。</p> <p>○江戸のまちなか様子から様々な職業の人がいることを読み取り、江戸時代の社会は、身分制度によって構成されていたことを捉える。</p> <p>○江戸時代の人々が身分に応じてどのようにくらしていたのかを調べる。</p> <p>○身分制度の意図や効果について話し合う。</p> <p>第2時において、本時の問いを解決するために必要な資料を明確にしたことで、教師からの指示がなくても、授業開始時に本時の問いをノート等に自ら書いている児童が多く、単元の学習の見通しをもって学習に取り組んでいる児童の姿が見られた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■江戸時代の身分ごとの人口割合（江戸時代の終わり頃）
5	<p>◆江戸幕府と外国との関係は、どのようなものだったか。</p> <p>○江戸幕府初期の貿易の様子を調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕府は初めてのころ、外国との貿易を盛んにしようとしていた。 <p>○江戸幕府が、どのようにキリスト教の禁止と貿易の統制をしようとしたのかについて調べる。</p> <p>○幕府の対外政策の理由や意図について話し合う。</p> <p>< B児の振り返り ></p> <p>自分に合ったまとめ方を選択できることで、調べ学習により楽しく取り組むことができました。ノートをきれいに書くことが苦手なので、今まではノートを書くことに必死でした。でも、今回はタブレットを使ったので、分かったことをどんどん記録することができて、いつもより内容がよく分かりました。</p> <p>自らの学び方の振り返りを毎時間繰り返すことで、自分の調べ方方法やまとめる方法を見直している児童の姿が見られるようになった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■日本町の位置（地図） ■鎖国までの歩み（年表） ■島原・天草一揆（絵図） ■正月の絵踏み（絵図） ■出島（絵図）
課題解決	<p>6</p> <p>◆学習問題に対する自分の考えをまとめよう。</p> <p>○学習問題を振り返り、江戸幕府が政治を安定させるために行ったことを、表に整理する。</p> <p>○江戸幕府の政策に対して人々がどう思ったのかを複数の立場で考え、話し合う。</p> <p>○江戸幕府が、どのようにして力を高め、長い間、安定した政治を行うことができたのかを考える。</p> <p>< C児の学習問題に対する自分の考え ></p> <p>徳川が開いた江戸幕府は、武家諸法度により参勤交代の仕組みや外国との関係に制限をかけたことで、幕府の力を確立した。また、身分の差をはっきりさせたことで、265年間も安定した世を続けることができた。</p> <p>< C児の学び方の振り返り ></p> <p>今回はたくさん友達と話しができ、自分の意見につけたしたり、みんなの意見に反応しながら聞いたりすることができたと思います。また、自分なりのまとめ方をするので、進んで取り組みました。次回は、さらに自分から意見を伝えられるようにしていきたいです。</p> <p>児童は、毎時間の問いを意識し、学習計画に沿って調べたことを学習問題に対する自分の考えに生かすことができた。また、学び方を振り返ることで、自分たちの学習の良かったことや達成できたことを述べている。児童は自身の学び方の変容に気付く中で、学び方の改善を図り、学習問題に対する自分の考えをまとめることができた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■前時までの資料

(6) 成果

ア 明確な見通しのある学習計画

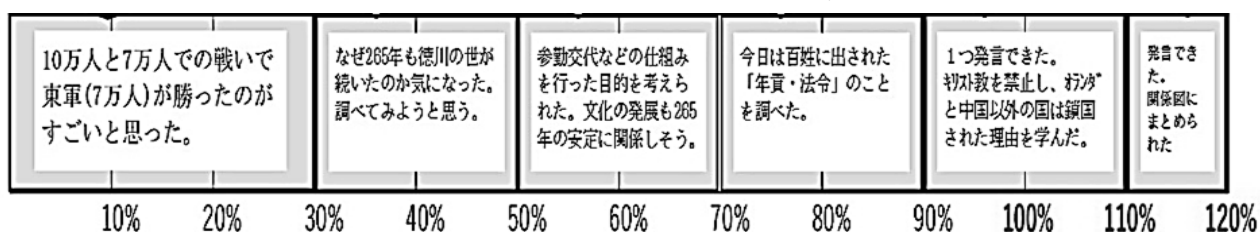
学習計画の中で調べる内容を設定することで、課題追究の場面の各時間の問いを児童自らが考えることにつながった。そのことで、課題追究の場面における授業において、開始時に自発的に前時の振り返りや学習計画の進捗確認を行うなど、学習問題の解決に向けて見通しをもって追究する児童の姿が見られた。また、一人1台の学習者用端末を活用し、作成した学習計画から事前に本時の問いを考え、端末内のプレゼンテーションソフトに記入し、調べる見通しをもっている児童の姿が見られた。

イ 自分に合った調べる方法やまとめる方法の選択

第5時のB児の振り返りにもあるように、調べる方法やまとめる方法を児童が選択できるようにすることで、自分に合った方法を選択して追究する児童の姿が見られた。さらに、児童によって使用する資料が異なるため、課題追究の場面や課題解決の場面で教師に自分から相談したり、他の児童と率先して話し合ったりする児童の姿が見られた。また、調べ学習が早く進んでいる児童にとっては、自分の判断で様々な方法で調べることができ、追究意欲の向上につながった。授業開始前や授業終了後も一人1台の学習者用端末を活用して調べ学習に熱心に取り組む児童の姿も見られた。このように、調べる方法やまとめる方法の選択は、さらに詳しく調べたりまとめたりしようとする児童の姿が見られ、積極的に情報を集めようとする態度を生み出していた。

ウ 「学習問題解決メーター」による振り返り活動

「学習問題解決メーター」を活用して、毎時間の自らの学習の進捗状況を振り返ったり、各自が自分たちの追究について考えたことを記述したりする姿が見られた。



< C児の振り返り >

C児は、毎時間分かったことや、さらに調べたいことを学習問題解決メーターに詳しくまとめていた。調べ足りないことや発展的な内容を自主的に家庭でも調べ、単元の終末には120%問題解決したと記録し、主体的に課題追究することができた。「学習問題解決メーター」を用いて振り返ることで、自分の追究の成果や改善点を意識して取り組む児童が増えた。

(7) 課題

- 学習計画を立てるために、それぞれの単元で一時間程度の時間数が必要であったため、学習計画を立てる際には、指導内容の精選や、単元に応じた柔軟な時間配分、ICT機器の活用などを行い、効率化を図る。
- 本研究では、調べる方法の選択については教科書や資料集等、インターネット資料等を中心に児童が自ら選んで学習に取り組んだが、体験活動やインタビュー活動等、学習内容に応じた学習活動についても、児童が選択できるようにしていく。

令和3年度 教育研究員名簿

小学校・社会

第3学年及び第4学年分科会

学 校 名	職 名	氏 名
中 央 区 立 佃 島 小 学 校	主任教諭	○ 水野 良太
渋谷区立代々木山谷小学校	主任教諭	後藤 亮
荒川区立第六瑞光小学校	主幹教諭	河波 友記
昭島市立田中小学校	主幹教諭	堤 隆史
小金井市立小金井第一小学校	主任教諭	松本 将吾
多摩市立多摩第三小学校	主任教諭	川口 真輝
檜原村立檜原小学校	主幹教諭	山田 剛史

第5学年分科会

学 校 名	職 名	氏 名
江 東 区 立 亀 高 小 学 校	主幹教諭	中村 步
世田谷区立烏山北小学校	主任教諭	◎ 山家 哲雄
武蔵野市立第一小学校	主任教諭	小川 周平
調布市立第三小学校	主任教諭	三好 雄太
小金井市立小金井第三小学校	主任教諭	倉林 宏樹
小平市立小平第十一小学校	主任教諭	榎本 勝也
日野市立夢が丘小学校	主任教諭	○ 白石 誠

第6学年分科会

学 校 名	職 名	氏 名
大 田 区 立 赤 松 小 学 校	主任教諭	○ 杉本 季穂
荒川区立ひぐらし小学校	主任教諭	近藤 直大
板橋区立下赤塚小学校	主幹教諭	桑島 孝博
練馬区立石神井東小学校	主任教諭	鈴木 雄士
青梅市立新町小学校	主任教諭	中前 勉
稲城市立稲城第七小学校	主任教諭	友廣 幸樹

◎ 全体世話人 ○ 分科会世話人

〔担当〕 東京都教育庁指導部義務教育指導課

指導主事 岩森 一弥

令和3年度
教育研究員研究報告書
小学校・社会

令和4年3月

編 集 東京都教育庁指導部指導企画課
所 在 地 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号
電話番号 (03) 5320-6849